



## 野尻 前副中央執行委員長 お別れの会 しめやかに執り行われる。

本年1月12日に急逝された野尻雅人 前副中央執行委員長 お別れの会が、3月27日(金) 都内北区にある北とぴあ 飛鳥ホールにおいて全自交 労連主催、全自交関東地連、全自交東京地連そして大和自動車交通労組の共催によりしめやかに執り行われた。

生前、親交のあった全自交組織内外の関係者ら約180名が参会し、故人との別れを惜しんだ。

式典の冒頭、故人の冥福を祈り参会者全員で黙とうを捧げた後、元大和自交労組 執行委員長 藤野 輝一氏が突然の訃報による悲しみの中、「病魔に侵されながらもハイタク労働者の地位向上のため奮闘してこられた。人を助け、世に尽くした見事な男だった。」とお別れの詞を述べた。

溝上 泰央 中央執行委員長は主催者挨拶の中で、多用な中で参会された方々と、式典開催に際し組織の内外から数多くの弔電や供花も捧げられたことへの感謝を伝えるとともに、「突然の訃報に驚くばかりだった。葬儀は故人の遺志によりご遺族のみで執り行われており、これまでの功績と感謝の気持ちを伝える場としてお別れの会を開催した。皆さんと一緒に故人を偲ぶ場としたい。故人が願っていたハイタク産業の明るい未来に向けて尽力していくことを誓う。」と公私にわたる故人とのエピソード等を紹介しながら思いを述べた。

参会がかなわなかった全国の全自交の仲間から寄せられた多くの弔電、供花も捧げられた祭壇には、笑顔の遺影があった。

このお別れの会は、個人の遺志を引き継ぎ全自交運動推進に向け尽力していく誓いの場ともなった。